

平成 29 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

生徒個々の「生きる力」「進路を切り開く力」の伸長を図る地域と密接に連携した教育活動により、将来社会に貢献できる能力と豊かな人間性を持つ人材を育成し、地域に信頼される高校をめざす。

- 1 生徒が積極的に参加・活動する「わかる授業」を推進し、「確かな学力」を育成する。
- 2 キャリア教育の充実に努めるとともに、自立支援コース並びに専門コース等において特色ある教育活動を展開し、自らの力で進路実現できる生徒を育成する。
- 3 教育活動全体を通じて、規範意識、人権意識の向上を図るとともに、地域との交流・連携を深め、安全・安心な学校としての信頼感を高めていく。

2 中期的目標

1 確かな学力の育成

(1) 生徒の参加・活動量の多い「わかる授業」をめざした授業力の向上に取り組み、自ら学ぶ生徒を育てる。

- ア アクティブ・ラーニングを取り入れ、生徒の授業参加と活動量を積極的に増加させ、学びを深める。
- イ 教員相互の授業見学、授業アンケートを効果的に活用し、授業力の向上に取り組み。
- ウ 国際交流事業、英語検定等を活用し、国際理解教育を推進する。
- エ 「阿武野プロジェクト(あぶプロ)・学力充実推進チーム」を中心として、組織的な授業力向上及び講習を行い、生徒の学力の充実に図る。
- ※ 授業アンケートにおける興味関心、知識技能に係る生徒の満足度(平成 28 年度 79%)を上昇させ、平成 31 年度には 88%以上にする。
- ※ 難関、中堅私立大学合格者数を増加させ、平成 31 年度には 30 名以上にする。
- ※ 平均家庭学習時間を毎年度 10 分増加させる。
- ※ 外部学力調査の成績上昇者を毎年度 10%向上させる。
- ※ ICTを活用した授業(平成 28 年度年間 2500 時間)を増加させ、平成 31 年度には 4000 時間以上にする。

(2) 学習環境の整備、授業規律の確立を図る。

- ア 学習環境整備、授業準備、授業規律の指導を徹底し、授業に集中できる環境を整える。

2 進路意識の高揚とコース制の充実

(1) 進路指導部と学年が協力して、系統的キャリア教育の充実に図り、主体的に進路を選択し実現できる生徒を育てる。

- ア 総合的な学習の時間(ライフ・プランニング=L P)、L H R (ロングホームルーム)において、系統的・継続的なキャリア教育の充実に図る。
- ※ 進路決定率(平成 28 年度 91%)を上昇させ、平成 31 年度には 94%以上にする。
- ※ 学校紹介就職内定率は 100%(平成 28 年度 100%)を維持する。

(2) 「自立支援コース」「スポーツ専門コース」「福祉・保育専門コース」をはじめ、すべての教育課程において、進路実現につながる特色ある教育活動を展開し、望ましい勤労観・職業観、基礎的・汎用的能力を養う。

- ア コース毎に、生徒の実態や保護者のニーズに応じた教育内容の充実に図り、進路実現につなげる。
- イ コースの特色に応じて多様な教育活動を展開し、地域との交流・連携を深める。

3 安全で安心な学校生活の中での規範意識と自尊感情の醸成

(1) すべての教育活動を通じて安全で安心な学校を作り上げ、規範意識、自尊感情、人権意識の高揚に努める。

- ア 規範意識の高揚、基本的な生活習慣の確立を図るため、登校時の校門指導を強化し、一貫した生徒指導を行う。
- イ L P、L H Rにおいて、人権学習を計画的に実施し、人権意識の高揚を図る。
- ウ 「ともに学び、ともに育つ」教育、並びに地域の学校、諸団体との交流・連携を推進し、社会貢献を体験することで、生徒の規範意識、自尊感情、人権意識を育てる。
- エ 防災教育、交通安全教育を計画的に継続して行う。
- ※ 遅刻について、前年度比 5%の減少を図る。

(2) 生徒の自主的活動を支援し自尊感情を醸成するとともに、自らを律し他人を思いやる心を育てる。

- ア 学校行事、生徒会活動の活性化を図る。
- イ 部活動の活性化を図る。
- ウ 一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な支援の充実に図る。
- ※ 部活動加入率(平成 28 年度 55%)を上昇させ、平成 31 年度には 61%以上にする。

4 地域の信頼感を高め、学校教育活動を活性化させる学校力の向上

(1) 広報活動を推進する体制を強化し、学校教育活動を活性化させる。

- ア 中学校訪問、中高連絡会、学校説明会等を計画的、組織的に実施し、地域の信頼感を高める。
- イ 学校教育活動全般について、適切な情報発信に努め、保護者、地域との信頼関係を高める。

(2) 組織的、継続的に学校力の向上を図る。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成 29 年 12 月実施分]	学校協議会からの意見
<p>【確かな学力の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「わかる授業」「ICTを活用した授業づくり」「生徒の主体的・協働的な授業参加」に向けて、「あぶプロ・学力充実推進チーム」を立ち上げ、研修、授業公開と研究協議、教科別協議等を行った結果、生徒の回答は、授業内容を理解 65.9%(H28・63.9%)、ICTを活用した授業 85.2%(H28・83.0%)、授業に積極的に参加 75.7%(H28・73.0%)と肯定的回答が上昇した。 ・今後は、取り組みの継続・発展と共に、授業規律についての肯定的回答、生徒 53.4%(H28・53.5%)、教員 61.7%(H28・59.2%)についても改善していく。 <p>【進路意識の高揚】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・系統的キャリア教育の推進のため、キャリアガイドブックの活用と共に、「素敵な大人インタビュー」「進路体験学習」「公務員対策講座」「進路別対策講座」「きめ細かな進路相談」等を行い、進路や職業について学ぶ機会(生徒)は 81.8%(H28・79.3%)と上昇した。 ・丁寧な進路指導を行っている(保護者)は 70.5%(H28・76.8%)、望ましい勤労観職業観が持てる系統的キャリア教育を実施(教員)68.1%(H28・69.4%)に留まった。 ・今後も系統的キャリア教育の推進のため、取組みの継続、見直し、発展を行う。 <p>【安全で安心な学校生活】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の回答では、学校に行くのが楽しい 73.9%(H28・71.8%)、自分のクラスは楽しい 81.1%(H28・75.9%)、学校は生活規律等の指導に尽力 79.4%(H28・78.2%)と上昇。保護者では、子どもは学校へ行くのを楽しみにしている 76.1%(H28・77.0%)であった。 ・人権の大切さを学ぶ機会がある(生徒)は、83.1%(H28・83.5%)、保健室や相談室で相談できる(生徒)は、57.3%(H28・45.4%)と上昇した。 ・人権尊重の姿勢に基づく生徒指導を実施(教職員)は、91.7%(H28・89.8%)であった。 ・学校行事満足度は、生徒 75.2%(H28・70.1%)、保護者 84.5%(H28・85.1%)と生徒で上昇。 ・今後も組織的な生徒指導、学校教育全般を通じた規範意識、人権意識、自尊感情の醸成と相談活動の充実に図り、安全で安心な学校生活となるよう推進していく。 <p>【学校力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員の回答では、教職員間の信頼関係がある 85.4%(H28・72.9%)、経験の少ない教職員へのフォロー体制がある 71.4%(H28・63.3%)といずれも上昇した。 ・「ABUNO TIMES(学校だより)の発行」「メールマガジンの発信」「ホームペ 	<p>【第 1 回 5 月 29 日】「平成 29 年度学校経営計画について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業は毎年来るたびによくなっている印象がある。昔の一方的な授業とは異なり、生徒の楽しそうな顔を見て、すごくいいなと感じた。生徒から挨拶をしてくれたことも印象に残った。 ・阿武高祭により多くの中学生が来てくれるように広報してはどうか。また、来てくれた中学生には、教職員からも声をかけてほしい。ちょっとした声掛けが中学生の心に響くのでは。 ・情報発信は、人と人との繋がりが大切。部活動での阿武高生と中学生の繋がりが有効では。 ・生徒会の生徒達と、PTA役員が話し合う機会を持ちたい。生徒のやりたいことを聞き、学校と連携して、保護者としてできることを実行したい。 ・地域と学校の繋がりで、クリーンキャンペーンや夏祭り、地域協議会、文化祭等の活動の中で、地域の方から、「阿武高生が一生涯懸命にやってくれて助かる」という声が上がっている。このような良い評価があるので、今後も、より積極的に交流を図っていききたい。 ・生徒が主体的に目標をもって取り組んでいる。研修等の効果が出ており、年々進化している阿武野高校を感じられた。これらをどのようにして周囲に知ってもらおうかが大切となる。 ・学校協議会へ参加する教職員が増えて、活気があって良い。教職員以外の意見が聞けるこのような機会は、特に経験年数の少ない教職員の成長のために大切なことである。 <p>【第 2 回 10 月 13 日】「学校経営計画進捗状況について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープンスクールに向けて、校内清掃をしっかりとやってほしい。多くの中学生が来校するので、「この学校に行きたい」と思ってもらえるように、きれいな学校であってほしいと願う。 ・各コースで生徒達が目標をもって学習できる良い環境であると感じた。 ・自転車マナーについて、小学校前でボランティアをされている方から苦情を聞いた。雨天時のカップ着用の指導と共に、指導の継続をお願いしたい。 ・本日のプレゼンテーションソフトを用いた説明で学校の様子がよくわかった。中学生はインターネットを使って高校を調べている生徒が多く、学校のホームページも活用して広報してほしい。 ・生徒と先生が一体となっていることが学力向上に繋がっていると感じる。生徒が先生方の指導ののっており、素晴らしい教育実践を行っていると感じた。 <p>【第 3 回 1 月 31 日】「学校経営計画達成状況について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(授業の動画から)生徒が主体的に楽しく授業を受けている様子がよくわかった。 ・小・中学校でも英語教育は大きく変わってきており、この春中学校へ入学する生徒達は、か

府立阿武野高等学校

<p>ージのレイアウトの刷新」等を行ったが、保護者の情報提供満足度は 68.4% (H28・75.8%)と下降した。</p> <p>・今後も、教育の見える化、広報活動の推進、保護者や地域との連携推進を行うと共に、計画的な教員研修を実施して、教育活動の活性化と学校力の向上を図っていく。</p>	<p>なり英語に慣れ親しんでいる。話せる英語教育の推進を続けてほしい。</p> <p>・PTAと生徒会で朝の挨拶運動が実施できて良かった。今後は、挨拶運動だけでなく、PTAが生徒とともに学校をきれいにできたらと考えている。</p> <p>・年々良い意味で変わってきている。これからも地域から支持される学校であり続けてほしい。</p>
--	--

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 確かな学力の育成	<p>(1) 生徒の参加・活動量の多い「わかる授業」をめざした授業力の向上に取り組み、自ら学ぶ生徒を育てる。</p> <p>(2) 学習環境の整備、授業規律の確立を図る。</p>	<p>(1)</p> <p>ア・アクティブ・ラーニング、ICTを活用した授業づくりを推進し、生徒の主体的・協働的な授業参加と活動量の増加を図る。</p> <p>・各授業の目標、ポイントを明示するとともに、授業の振り返りを行う。</p> <p>・課題・宿題による家庭学習の習慣づけ、確認を行い、授業進行に活用する。</p> <p>・パフォーマンス課題に基づく評価を推進する。</p> <p>イ・「あぶプロ・学力充実推進チーム」を立ち上げ、教材開発、研究授業、研究協議、ICT機器活用の校内研修を実施する。</p> <p>・先進校視察、教員相互の授業見学を活性化すると共に、授業アンケート結果を活用し、授業の質の向上を図る。</p> <p>ウ・国際交流事業(ケント高との相互交換留学)や英検受検を通じて英語力と国際感覚を養う。</p> <p>(2)</p> <p>ア・学習環境整備、授業準備、授業規律について、各学年団での指導を一貫して行う。</p>	<p>(1) ア イ</p> <p>・興味関心、知識技能に係る授業アンケート満足度 79%→82%。</p> <p>・平均家庭学習時間：昨年度比 10 分の増加。</p> <p>・ICTを使用した授業：2500 時間→3000 時間。</p> <p>・外部学力調査の成績上昇者：昨年度比 10% 向上。</p> <p>ウ・国際交流事業の活性化。</p> <p>(2)</p> <p>ア・クラス清掃をきちんとする 70%→72%。</p> <p>・私語が少なくしっかり授業を聞く 54→56%。</p>	<p>(1) アイ</p> <p>・「あぶプロ・学力充実推進チーム」を立ち上げ、先進校視察・センター研修等の研修参加、校内研修、公開授業、研究協議等を実施したが、授業アンケートの興味関心・知識技能に係る満足度は平均 81.4%。(△)</p> <p>・平均家庭学習時間は 5 分の増加にとどまった。(△)</p> <p>・ICT を活用した授業は年間約 3000 時間(H28・2500 時間)と増加した。(○)</p> <p>・外部学力調査の成績上昇者は、7.5% 下降した。(△)</p> <p>・教員相互・他校の授業見学、研修参加延べ 339 人。(◎)</p> <p>ウ・アメリカワシントン州ケント高校からの受け入れは 7 月 8 日～14 日生徒 4 名、引率教員 1 名。訪問は、平成 30 年 3 月 23 日～4 月 1 日生徒 4 名の予定。(○)</p> <p>(2) ア</p> <p>・各学年での学習環境整備、授業規律指導を行ったが、生徒のクラス清掃に係る肯定的回答は 67.7% (H28・69.7%) に留まった。(△)</p> <p>・授業規律に係る肯定的回答は昨年同様で、53.4% (H28・53.5%) であった。(△)</p> <p>・今後も学習環境の整備、授業規律の確立に取り組む。</p>
2 進路意識の高揚とコース制の充実	<p>(1) 進路指導部と学年が協力して、系統的キャリア教育の充実を図り、主体的に進路を選択し実現できる生徒を育てる。</p> <p>(2) 各コースをはじめすべての教育課程において、進路実現につながる特色ある教育活動を展開し、望ましい勤労観・職業観、基礎的・汎用的能力を養う。</p>	<p>(1)</p> <p>ア・3 年間で、LP、LHR における系統的・継続的なキャリア教育が充実するよう、進路指導部、学年が協力する。</p> <p>・進路指導部・教務部・学年団が協力して、補習・講習の校内体制を整備する。</p> <p>・1 年次は自尊感情の育成とともに、LP「素敵な大人インタビュー」等を通して将来の職業生活についての意識を高める。全員の 3 者面談を実施し、進路決定や職業を意識したコース選択、科目選択を徹底する。</p> <p>・2 年次は進路体験学習等のキャリア教育、個人面談により、適切な科目選択、卒業後の進路目標の確定に導く。</p> <p>・3 年次は進路別対策講座を実施するとともに、担任・進路によるきめ細かな進路相談を行い、進路希望実現 100% をめざす。</p> <p>(2)</p> <p>ア・専門コースや選択科目が生徒の進路に結びつくよう、教育内容の充実を図る。</p> <p>イ・地域諸団体との交流・連携を推進し、進路意識の高揚を図る。</p>	<p>(1)</p> <p>ア・進路や職業について学ぶ機会がある 79%→81%。</p> <p>・2 年生の進路目標確定 95% 以上。</p> <p>・卒業時進路決定率 91%→92%。</p> <p>・学校紹介就職内定率 100%。</p> <p>・進路指導部による進路相談 200 回以上。</p> <p>・難関・中堅私立大学合格者数 10 名以上</p> <p>(2)</p> <p>ア・専門コースの授業に満足 70%→72%</p> <p>イ・地域の方から学ぶ機会がある 64%→67%</p>	<p>(1)</p> <p>・進路や職業について学ぶ機会がある(学校教育自己診断・生徒)は 81.8% (H28・79.3%) に上昇。(◎)</p> <p>・1 年生は素敵な大人インタビュー等、自己理解を深め適性を理解して進路を考える機会を多く作った。(○)</p> <p>・2 年生は進路目標の確定に向け、オープンキャンパス、分野別説明会、保護者・生徒に進路説明会を実施。模試受験者が昨年の 3 倍になる等意識の向上が見られ、進路目標確定者は 100%。(◎)</p> <p>・3 年生は進路別対策講座、進路ガイダンス等を実施し、卒業時進路決定率は 86% (△)、学校紹介就職内定率は 100%。(○)</p> <p>・進路指導部による進路相談は 205 回。公務員対策講座受講者が公務員試験に合格。(○)</p> <p>・難関・中堅私立大学合格者は 7 名。(△)</p> <p>(2) アイ</p> <p>・スポーツ専門コースでは、体育祭での集団行動、小学校スポーツテスト補助・クラブ指導、体育大学見学会、スキー・スノーボード実習を実施すると共に、高槻シティーハーフマラソンに参加、大会運営に協力。(◎)</p> <p>・福祉・保育専門コースでは、文化祭での高槻支援学校と合同の手話コーラス、地域の保育所、福祉施設、支援学校との交流から福祉に関する職業観を育成。(◎)</p> <p>・専門コース授業満足度(生徒)85.8% (H28・70.1%) (◎)</p> <p>・地域の方から学ぶ機会(生徒)67.8% (H28・64.2%) (◎)</p>
3 規範意識と自尊感情の醸成	<p>(1) すべての教育活動を通じて安全で安心な学校を作り上げ、規範意識、自尊感情、人権意識の高揚に努める。</p> <p>(2) 生徒の自主的活動を支援し自尊感情を醸成すると共に、自らを律し他人を思いやる心を育てる。</p>	<p>(1)</p> <p>ア・全教職員による登校時校門指導を行い、遅刻、頭髪、制服の指導を強化するとともに、挨拶ができる生徒を育てる。</p> <p>・生徒一人ひとりが「阿武野高生の代表」であるという自覚を持ち、責任ある行動、言葉遣いができるよう一貫した生徒指導を行う。</p> <p>・カウンセリングマインドを持った生徒指導を推進する。</p> <p>イ・1 年次に地域交流による「障がい理解学習」を行う等、LP、LHR で人権学習を計画的に実施し、安全で安心な学校づくり、人権意識の高揚を図る。</p> <p>ウ・2 年次に社会貢献活動「あぶねっと」を行う等地域交流を推進し、学校教育全般を通じて生徒の規範意識、自尊感情を育てる。</p> <p>エ・防災教育、自転車指導を計画的に行う。</p> <p>(2)</p> <p>ア・学校行事、生徒会活動の活性化を図る。</p> <p>イ・部活動の活性化を図る。</p> <p>ウ・各学年、相談室委員会、配慮特別委員会が情報を共有し、SC(スクールカウンセラー)、関係機関との連携を推進して、一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援体制を確立する。</p>	<p>(1)</p> <p>ア・年間延べ遅刻数 4500 人以下。(H28・4747 人)</p> <p>・カウンセリングマインドのある生徒指導の実施(教職員)82%→84%</p> <p>イウ</p> <p>・人権の大切さを学ぶ機会がある 84%→86%。</p> <p>・学校へ行くのが楽しい 72%→75%。</p> <p>エ・防災教育、交通安全教育の各学期実施。</p> <p>・カップ所有率 100%。</p> <p>(2)</p> <p>ア・学校行事満足度 70%→73%。</p> <p>イ・部活動加入率 55%→57%。</p> <p>・生徒会や部活動による地域交流 20 回以上。</p> <p>ウ・「個別の教育支援計画」の作成と適切な支援。</p>	<p>(1)</p> <p>ア・登校時校門指導、年間 4 回の生徒指導週間、2・3 年生への特別指導、遅刻が多い生徒への保護者と連携した指導を実施したが、年間の延べ遅刻者数は 5017 人と昨年より増加。(△)</p> <p>・全教職員による一貫した生徒指導を推進し、生活規律等の指導に尽力(生徒)は 79.4% (H28・78.2%)。カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導(教職員)は 72.9% (H28・81.6%) に留まった。(△)</p> <p>イウ・人権コンサート、障がい理解学習、あぶねっと等の実施により、人権の大切さを学ぶ機会がある(生徒)は、昨年同様 83.1% (H28・83.5%) だった。(△)</p> <p>・学校へ行くのが楽しい(生徒)は 73.9% (H28・71.8%) に上昇。(△) 今後も、学校教育全般を通じた規範意識、人権意識、自尊感情の醸成を図っていく。</p> <p>エ・終業式等での講話、生徒指導日より等で自転車指導を実施。カップ所有率は 98% でほぼ定着した。(△)</p> <p>・5 月火災想定避難訓練、9 月大阪 880 万人避難訓練(机上訓練)、1 月減災をテーマに防災 HR を実施。(○)</p> <p>(2)</p> <p>ア・学校行事満足度(生徒)は 75.2% (H28・70.1%)。(◎)</p> <p>イ・部活動加入率は 51%。学年別では、1 年 66%、2 年 45%、3 年 41% で 3 年生で下降。(△)</p> <p>・地域の夏祭り・文化祭、クリーンキャンペーンや高槻シティーマラソンに協力、中学校との連携等、生徒会や部活動による地域交流は 30 回以上で活性化を図れた。(◎)</p> <p>ウ・個別の教育支援計画は 13 名について作成。今後も学年、相談室、その他複数の視点からの情報収集と関係者の情報共有、関係機関との連携を行う。(○)</p>

府立阿武野高等学校

<p>4 地域の信頼感を高め、活性化を図る。学校力の向上</p>	<p>(1) 広報活動を推進する体制を強化し、学校教育活動を活性化させる。</p> <p>(2) 組織的、継続的に学校力の向上を図る。</p>	<p>(1) ア・中学校訪問、中高連絡会、学校説明会等を計画的、組織的に実施する。</p> <p>イ・学校紹介スライド・動画・リーフレット、ポスター、「3年間の学び・みえるプラン」を作成し、教育活動の効果的な情報発信に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 文書、保護者メール、HP(ホームページ)等を使って保護者との連絡をより密接に行い、学校との信頼関係を向上させる。 <p>(2) ・日常的なOJTの推進に努め、経験年数の少ない教職員の育成体制の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 府教育センター等の研修を活用し、伝達研修の充実を図る。 地域の府立学校とも連携し、職員研修を計画的に実施する。 	<p>(1) ア・学校説明会等の計画的、組織的実施6回以上。</p> <p>イ・HPをH29年度用に1学期中に改訂。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育情報提供満足度(保護者)76%→78%。 PTA活動に参加(教職員)55%→58% <p>(2) ・伝達研修を含む職員研修の実施12回以上。</p> <ul style="list-style-type: none"> 経験の少ない教職員をフォローする体制(教職員)63%→66% 	<p>(1) ア・学校説明会は校外2回、校内8回、オープンスクール1回実施。自立支援コース説明会は校外1回、校内2回実施。自立支援コースでは個別相談多数。実施時期、方法等検討し組織的に実施。中学校訪問は延べ50回、中学校への出張説明会は5校。(◎)</p> <p>イ・学校紹介スライド、動画、リーフレット、ポスター3年間の学び・みえるプランを作成し、生徒、保護者、地域向けに配布。(○)</p> <ul style="list-style-type: none"> ホームページのレイアウトを1学期中に刷新。(◎) 文書、保護者メールによる保護者との連絡は、今年度から新たに学校日より「ABUNO TIMES」を発行、学年毎のメールマガジン(延べ年間約50回)、学習の状況、生徒指導等に関する文書通知を実施したが、保護者の情報提供満足度は68.4%(H28・75.8%)に下降した。(△) 昨年度2学期に実施した教職員が多数参加するPTA行事を今年度3学期に実施予定で、PTA活動に参加(教職員)は37.5%(H28・55.1%)に下降。(△) <p>(2) ・伝達研修、職員研修は20回以上実施。(◎)</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員人権研修は5月「発達障がいって何だろう～生きにくさの背景にあるもの～」、10月「子どものやる気を引き出す魔法の質問」を実施した。計画的な人権研修が教育実践に役立つ(教職員)91.7%(H28・79.6%)、経験の少ない教職員をフォローする体制(教職員)71.4%(H28・63.3%)、教職員間の相互理解・信頼関係がある85.4%(H28・72.9%)(◎)
--------------------------------------	---	---	---	---